

挫折や失敗こそが学びに向かう力（メタ認知）を高める絶好の機会  
～全てをポジティブにとらえ生きる力を高める北西の子にしていく～

北町西小学校長 吉川文章

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、年頭に当たり、昨年印象に残ったあるアスリートのお話をいたします。令和の始まりに、プロデビュー1年目にして「全英女子オープン」で優勝し「スマイルシンデレラ」と呼ばれ世界中で話題となった「シブコ」こと渋谷日向子選手です。彼女は2年目のシーズンはとにかく苦しみました。コロナ禍で大会が中止となる環境下、全てのアスリートがコンディション作りに苦しんだとはいえ、迎えた最初の国内大会で予選落ち（国内は2戦連続予選落ち）。連覇のかかった全英女子オープンでも予選落ち。その後も調子は上がりません。

わたしは、今年のシーズンは成績が伸びないまま終わるのかなと案じていました。また、若くして一躍有名になったアスリートが過度な期待をされプレッシャーに押しつぶされスポーツ界から去っていく姿を何度も見ていたので、このまま選手生命が終わるという最悪のシナリオも想像しました。しかし、彼女はシーズン後半から逆境を跳ね返すように成績を上げていきます。11月の国内大会で今年初めての予選通過。その後、4戦連続の予選通過となり、国内最終戦では3位に入りました。そして、迎えた12月の全米女子オープン。優勝争いの主役を演じて最終的に4位という成績を残したのです。最終日に逆境を許したとはいえ、日本人が一度も制したことの無い大会で優勝争いを演じたことは、今後に向けての光明が射したと言える大きな成果となりました。

渋谷選手は失敗しても、その失敗をきちんと分析して糧とし、次の戦いにつなげていく力がずば抜けていると言われます。世界のトップに立つ選手が持つ「必須の才能」と言えるでしょう。その力の源は、彼女のアスリートとしてのポジティブ思考、そして自分を客観的・俯瞰的にとらえる「メタ認知能力」の高さにあるのではないのでしょうか。世界のメディアからは、彼女のゴルファーとしての資質に対して、全英を制した時よりも高い評価と賞賛が寄せられました。これからも、どんな時も「笑顔」を信条に向上する渋谷選手の成長を楽しみにしています。

学校生活や人生の中には、成功ばかりではありません。むしろ、失敗や挫折、迷いや不安の方が多くはないのでしょうか。特に、このコロナ禍、制限がある中でプラスの材料を探すことが難しい状況でもあります。しかし、逆境をプラスに変えて成長を続ける渋谷選手のように、「全てをポジティブにとらえ生きる力を高める北西の子にしていく」べく、学校と家庭で力を合わせてまいりましょう。「ポジティブ思考の先に必ず明るい希望の光が差すことを信じて」

本年もどうぞよろしくお願いいたします。